

平素は、本校教育に、ご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この学校評価アンケートは、児童・保護者・学校の三者で行い、年間2回実施を企画しています。第2回学校評価アンケートの結果をお知らせ致します。

## 令和5年度 久我の杜小学校 第2回学校評価



### 学習面



児童				
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
先生や友だちの話や意見を最後まで聞いています。	48%	44%	7%	1%
授業中、自分の思いや考えを発表している。	34%	28%	29%	9%
学校の授業はよくわかる。	53%	36%	8%	3%
家庭で、毎日15分×学年ほどの学習をしている。	35%	30%	22%	13%
進んで読書をしていますか。	41%	30%	18%	11%

保護者				
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
先生や友だちの話や意見を最後まで聞くように声かけしている。	19%	70%	11%	0%
自分の思いや考えを伝えるように促している。	21%	68%	11%	0%
学校での学習内容をよく理解していると感じる。	17%	59%	22%	2%
毎日15分×学年ほどの家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	12%	34%	41%	13%
進んで読書をするような環境づくりをしていますか。	7%	22%	48%	23%

教職員				
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
先生や友だちの話や意見を最後まで聞くように声かけしている。	33%	67%	0%	0%
自分の思いや考えを発表できるように工夫している。	11%	82%	7%	0%
分かりやすい授業を行うように心がけている。	15%	78%	7%	0%
毎日15分×学年ほどの家庭学習が定着できるように指導している。	4%	59%	30%	7%
読書の習慣が定着するように積極的な図書室利用や読書ノートの活用などに取り組んでいる。	4%	70%	11%	15%

#### ☆「先生や友だちの話や意見を最後まで聞く」

引き続き、90%以上の児童が出来ていると感じています。児童の聞こうとする思いと、お家の方からの声かけや、教職員の指導と三者が同じ方向を向いて取り組めている結果、児童が出来ていると実感しています。相手の話を聞くことは、人間関係を築いていく上でとても大切な姿勢です。児童が相手の話を最後まで聞こうとするには、自分自身が話を最後まで聞いてもらったという経験が土台となります。引き続き、保護者や教師など周りの大人が子どもたちの話をゆっくりじっくり聞くことで、話を聞いてもらえる嬉しさや安心感をさらに積み重ね、これからも聞く姿勢につなげていきたいですね。

#### ☆「自分の思いや考えを発表している」

前回同様、出来ていると感じている児童が62%と、【聞く】に比べぐっと落ち込んでおり、本校の児童の【話す】ことへの苦手意識がみられます。原因としては、人前で話すことへの恥ずかしさ・もし間違っていたらという不安・何を話したらいいのかが分からないということが考えられます。学習の中での話しやすい発表しやすい場づくりをしたり、話型を決めて話す、答えが必ず分かることなど誰もが自信を持って話したりという経験を積み、話すことへの不安を取り除いていけるようにしていきたいです。

#### ☆「家庭で、毎日15分×学年ほどの学習をしている」

児童66%・保護者43%、教職員90%と数に開きがあります。学年が上がれば、1時間～1時間半という時間になり、宿題だけだと短時間で終わってしまいます。宿題以外に自分から進んで予習や復習など他の学習へと意欲にはつながっていないようです。早く遊びたい・めんどうくさいなどの気持ちもあるかと思いますが、宿題以外にどんな学習をすればよいのかが分からず取り組めていないことが考えられます。高学年は、中学校に向け、自分の苦手なところや、テストに向けての勉強、授業の復習などを行ってほしいですね。今年度も校内で「自学グランプリ」を行っています。調べたい内容を考え、じっくり自学に取り組むのも習慣づける第一歩ですね。

# 生活面



	児童			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
先生や友だちに大切にされている。	48%	39%	10%	3%
人を大切にした言葉づかいや行動をしている。	40%	46%	11%	3%
自分からあいさつをしている。	35%	35%	20%	10%
困ったことは、先生や家族に相談している。	43%	33%	17%	7%
たくさんの先生が自分に関わってくれている。	40%	43%	14%	3%

	保護者			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
子どもは、先生や友だちに大切にされていると感じる。	22%	71%	6%	1%
人を大切にした言葉づかいや行動を意識させている。	14%	66%	19%	1%
家庭で、進んであいさつするように働きかけている。	28%	61%	11%	0%
家庭で、子どもが話しやすい雰囲気をつくるようにしている。	23%	69%	7%	0%
学校は、教職員がチームとなり、子どもに関わっている。	21%	71%	7%	1%

	教職員			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
いつも児童の人間関係に心を配り、児童理解に努めている。	26%	74%	0%	0%
人を大切にした言葉づかいや行動をするように指導している。	30%	70%	0%	0%
子どもたちが進んで挨拶をするように働きかけている。	22%	63%	15%	0%
子どもが話しやすい雰囲気をつくっている。	30%	70%	0%	0%

## ☆「先生や友だちに大切にされている」

児童・保護者・教職員共に約90%が「できている」と感じています。しかし、児童の10%が「あまり出来ていない」、3%が「出来ていない」と感じています。自分は、先生や友だちから大切にされていると感じることができると、学校が安心して過ごせる場所になっていきます。まずは先生に大切にされないと、子どもたちが感じられる学校を教職員全員で目指していきたいと思います。

## ☆「人を大切にした言葉づかいや行動をしている」

児童の86%ができていると感じています。子どもたちの様子を見ていると、学習時間中はできていますが、休み時間や放課後などの子どもだけの場面になると、言い方がきつかったり、相手を傷つけてしまう言い方をしたりして、トラブルになることもあります。どんな場面でも、人を大切にした言葉づかいや行動ができるようになってほしいと思います。相手を大切にするということは、自分も大切にされるということにつながりますね。

## ☆「自分から進んであいさつをしている」

児童70%と、他の項目に比べ少なくなっています。学習面の「自分の思いや考えを発表している」と同様、自分から声を出す・話すことに苦手意識が見られます。少しずつですが、自分からあいさつが出来ている子も増えてきています。また、あいさつとても少ないです。そんな中でも、自分から進んで大きな声で気持ちのよいあいさつをしてくれている人もいます。その姿が少しづつでも広がっていってほしいです。あいさつは、人と人を繋ぐ第一歩です。相手を大切にするという視点からも自分からあいさつができるようになってほしいですね。

## 【地域の方の声】

- ・出会うと子どもたちが声をかけてくれて嬉しい。
- ・気持ちのいいあいさつをしてくれる子もいるが、全体でみるとあまりあいさつができない。
- ・放課後の過ごし方で、自転車の乗り方や遊び方が気になる。
- ・学校周辺の駐車が多く、下校時に見通しが悪くなり危険だと思う。



ご多忙の中、学校評価へのご協力ありがとうございました。学校評価の内容を踏まえ、今後の学校運営に生かしていきたいと思います。今後とも、本校教育に何卒ご理解ご協力いただきますよう、お願ひいたします。